

2021年6月10日

城所先生が共著者として参加した原著論文（Annear M, Kidokoro T, Shimizu Y. Existential threats to the Summer Olympic and Paralympic Games? A review of emerging environmental health risks）が *Reviews on Environmental Health* 誌に掲載されました。

2020年の東京オリンピック開催にあたっては、気候変動に伴う熱中症リスクに加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が大きな影響を及ぼしています。本論文では、過去の夏季オリンピックにおける感染症および熱中症リスクを調べた研究をまとめ、システムレビューを実施しました。これまで夏季オリンピック開催に先立ち、いくつかの感染症の流行があったものの、オリンピック開催には大きな影響を及ぼしてきませんでした。一方、今回の新型コロナウイルスに代表されるように、有効なワクチンが確立していない感染症の世界的拡大は、世界中から多くの人が集結するオリンピックのような大規模スポーツイベントをいかに開催するかについて、多くの課題を投げかけています。さらに、地球温暖化に伴い、熱中症リスクは東京を含む多くの国において、すでに危険水準値 (dangerous point) に達しています。こうした環境要因の変化に伴い、今後の夏季オリンピック開催の在り方について、再考する必要があるといえます。

以下、論文の URL

<https://www.degruyter.com/document/doi/10.1515/reveh-2020-0141/html>

（文責：城所哲宏）